

## 高圧水素用ステンレス鋼の冷間引抜材において ClassNK製造法承認を取得 ～水素燃料船舶への展開を加速し水素社会の早期実現に貢献～

愛知製鋼株式会社（代表取締役社長：後藤尚英）は、当社が開発した高圧水素用ステンレス鋼「AUS316L-H2」および「AUS305-H2」の冷間引抜材において、一般財団法人日本海事協会（ClassNK）より、製造法承認（Manufacturing Process Approval）を取得しました。

本承認の取得により、水素燃料船舶の国際的な船級取得に求められる高圧水素機器の材料として、当社の高圧水素用ステンレス鋼の冷間引抜材を適用できる体制を整備しました。

当社は長年に渡り、高圧水素用ステンレス鋼の開発および供給を継続的に推進してきました。2014年には「AUS316L-H2」が、2020年にはそれに加え「AUS305-H2」が、トヨタ自動車の燃料電池自動車「MIRAI」に採用されるなど、当社の高圧水素用ステンレス鋼は、様々なモビリティや水素ステーションなどの高圧水素機器の材料として広く活躍しています。

今回の承認取得は、これまで燃料電池自動車や水素ステーションなどで培ってきた高圧水素用ステンレス鋼の実績を基盤に、国際的な船級取得が求められる水素燃料船舶に向けて、適用領域を拡大するものです。本承認の取得により、国内外の水素燃料船舶市場において、当社の高圧水素用ステンレス鋼の適用拡大が期待できます。

当社は「[2024-26年度中期経営計画アップデート](#)」の通り、「環境に一番やさしい鉄屋」として、社会課題の解決に貢献するステンレス鋼の利用拡大に取り組んでいます。今回の承認取得により、当社は、高圧水素用ステンレス鋼の供給体制をより一層強化し、水素社会の早期実現に貢献してまいります。

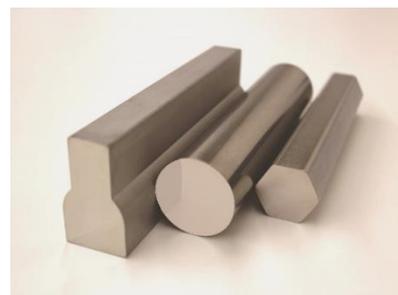
### 【ClassNK 製造法承認の概要】

承認機関	一般財団法人日本海事協会（ClassNK）
承認区分	製造法承認（Manufacturing Process Approval）
承認番号（Approval No.）	ST66RO
証明書番号（Certificate No.）	TA26107E（総括） TA26109E（AUS316L-H2 冷間引抜材） TA26108E（AUS305-H2 冷間引抜材）
承認工程	製鋼、鋳造、圧延、熱処理、ピーリング、冷間引抜 など
対象製品	AUS316L-H2 冷間引抜材（丸棒） AUS305-H2 冷間引抜材（丸棒、六角棒、異形棒）

【対象製品の概要】

商品名	AUS316L-H2 冷間引抜材	AUS305-H2 冷間引抜材
特長	高強度、 優れた水素適合性	左記に加え、省資源性（レア メタルであるモリブデン不使 用）、快削性
形状	丸棒	丸棒、六角棒、異形棒
用途	水素燃料船舶の高圧水素機器 （従来から、燃料電池自動車などの 様々なモビリティにおける高圧水素機器に採用）	

営業窓口 ステンレス営業部：052-603-9024



省資源高強度  
高圧水素用ステンレス鋼  
“AUS305-H2”  
冷間引抜材

---

お問い合わせ先…愛知製鋼株式会社 社長室 広報チーム:052-603-9216